

# 大阪大学工業会海外交流助成金 「渡航報告」

〔教員の部〕

## 海外渡航報告書

知能・機能創成工学専攻 平田研究室

助教 新口 昇

【参加会議】 XX<sup>th</sup> International Conference on Electrical Machines  
(ICEM 2012)

【開催場所】 Marseille, France

【渡航期間】 Aug. 31- Sep. 7, 2012

ICEM 2012 は、西ヨーロッパで隔年開催されるモータなどに関する学会で、今回は、フランスのマルセイユが開催地であった。前回は、ローマで開催され、私はポスター発表を行ったが、今回は 2 件、投稿し、オーラル発表とポスター発表に 1 件ずつ、割り当てられた。これまでも、国際学会で英語でのオーラル発表を行ったことがあったが、チェアマンが日本人、会場の大半が日本人など、国内学会と同じような雰囲気であった。しかし、今回は、日本人の比率は少なく、大半が欧州の国々からの参加者で、本当の国際学会と言える中での発表であった。

本会議は、地中海に面するマルセイユで 4 日間開催され、私の発表は 2 日目と 3 日目の午前に 1 件ずつ、設定されていた。2 日目には、ポスター発表が設定されており、ポスターの掲示は 10 時から 18 時までの 8 時間であったが、ポスターの前に立ち、議論を行う時間は、昼食時とコーヒープレーク時のみであり、これらの時間以外は他機関のオーラル発表を聴講し、研究動向を調査した。また、3 日目の午前のオーラル発表では、朝 8 時からのセッションにもかかわらず、会場が満席になるほどの盛況ぶりであった。発表での質疑応答では、アルファベットを母国語とする人たちの発音は聞き取りづらかったが、質問内容を理解することができ、無事に返答できた。

本会議が行われたマルセイユへは、パリからフランスの新幹線 TGV で移動した。これまで、マルセイユ駅を通過したことは何度かあったが、下車したのは初めてであった。ミストラルという北風が強かったが、気候がよく、快適に過ごすことができた。

ヨーロッパで開催された国際会議では、初めてのオーラル発表であり、無事に終わることができたが、英語力の未熟さを痛感する機会にもなった。今回の経験を糧に、英語力の向上に取り組んでいきたい。最後に、今回の渡航費を補助してくださった大阪大学工業会に感謝の意を表します。



ポスター発表



港町マルセイユ

海外交流助成金「渡航報告」は、提出されたままを掲載しております。

## 海外渡航報告書

大阪大学大学院工学研究科 応用化学専攻  
物質機能化学コース 平尾研究室  
博士後期課程 1 年 坂本 勇樹

【参加会議】 6<sup>th</sup> International Symposium on Bioorganometallic Chemistry (ISBOMC' 12)

【開催場所】 Toronto, Canada

【開催期間】 July, 8-12, 2012

今回、私は 2012 年 7 月 8 日から 12 日にトロント(カナダ)で開催された 6<sup>th</sup> International Symposium on Bioorganometallic Chemistry (ISBOMC' 12)に参加しました。ISBOMC は生物有機金属化学の領域を代表する国際会議であり、超分子や医療化学など様々な分野で生物分子や有機金属化合物の特性を利用した研究が盛んに発表されています。

私は 3 日目の夕方に「**Controlled Assembly of Bioorganometallic Complex Composed of Uracil and Organoplatinum(II) Complex**」というタイトルでポスター発表を行いました。発表内容は核酸塩基を利用し、有機金属錯体を配列制御することで有機金属錯体の機能を変化させるというものです。初めての国際学会ということもあり、英語で自分の研究の紹介や質問に対する応答は難しかったが、なんとか無事に行うことができ、自信になりました。また、著名な先生方も多くおられ、実際に先生方とディスカッションを行うことができ、感銘を受け、今後の研究に対して非常に良い刺激を得ることができました。

また、日本とカナダの文化の違いについても強く感じ、天候や住環境、食事などの違いを楽しむことができました。また、エクスカーションではナイアガラの滝を訪問し、その壮大な自然に圧倒されました。以上のように、今回の海外渡航では様々な刺激を受けることができ、非常に良い経験になりました。

最後に、この度の国際学会参加にあたり、海外交流助成金を援助して頂きました大阪大学工業会に深く感謝の意を表します。



ポスター発表を行う筆者



ナイアガラの滝

## International Conference on Fluid Mechanics and Applications Report

3<sup>rd</sup> year PhD student

Rouhollah Ahmadi

Department of Mechanical engineering,  
Graduate School of Engineering,  
Osaka University

The International Conference on Fluid Mechanics and Applications (ICFMA 2012) was hold by WASET (World Academy of Science, Engineering and Technology), in Amsterdam, the Netherlands from July 25<sup>th</sup> to 26<sup>th</sup>. It was aimed to exchange and share experiences and research results about all aspects of Fluid Mechanics and Applications by bring together academic scientists, leading engineers, industry researchers and scholar students.

The conference was opened at 25<sup>th</sup> of July by registration and then began presentation in two sessions, immediately. The main part of participants came from universities as Professors, researchers or like me as a student. The participants were from many countries around the worlds. Therefore, there was a good opportunity to discuss with other academic scientists about their works and also about their research fields. Communication with other scientific colleague is of importance to get good knowledge of novel issues in sciences and engineering techniques which is agenda within scientists in the world.

My presentation was in the second day of conference, therefore in the first day I participated in the conference as an audience. The purpose of my participation was presenting some part of my experimental study which was performed in the Laboratory of Inter-phase Heat and Mass Transfer, Department of Mechanical Engineering, Osaka University. In my opinion, I did it as well, and it was good practice to present better my work in the graduation defense.

Beside the conference, because it was first time for me to visit European country, there was a good opportunity to sense atmosphere of science, way of communication and see different culture in close. I could visit some museums and several natural sightseeing in the city of Amsterdam. This visit contained knowledge and information about history and way of social behavior of citizens in Amsterdam.

In the Last, I have to deeply appreciate from Engineering Society of Osaka University which awarded me good financial support for this international conference.

Thank you so much,

And

Best regards

## 海外渡航報告書

環境・エネルギー工学専攻 澤木研究室  
博士後期課程2年 周 霏 (ZHOU FEI)

【参加会議】: International Symposium on Urban Planning 2012 (ISUP 2012)

【開催場所】: Taipei, Taiwan

【開催期間】: August 23th (Thu) - 25th (Sat), 2012

私が参加した ISUP は、毎年1回、日本 (The City Planning Institute of Japan) ・ 韓国 (Korea Planners Association) ・ 台湾 (Taiwan Institute of Urban Planning) の提携学会と共催で国際都市計画シンポジウムを開催している。第19回 Smart City and Urban Renewal という今回のシンポジウムは台湾の台北で開催され、17 セッションで68 件のオーラルプレゼンテーションが行われた。

私は会議2日目の午前に「A Study on Conservation of “Old Villa House” Using for Commercial and Residential Combined in Shanghai China」というタイトルで、商住併用の“Old Villa House”の保全活用の方策検討に関して20分間の口頭発表と5分間の質問応答を行った。国際学会での発表経験がない私は緊張して発表を終わることができた。3日目はテクニカルツアーであり、“Taipei Flower Expo”や“Tamshui River”、“Tamshui Old Street (淡水老街)”などの観光場所を訪ねた。

今回のシンポジウムで、日本国内の先生や研究者だけではなく、台湾や韓国の先生や研究者、学生たちとの交流もできた。Smart City の理念や台北市の都市計画などいろいろなことを勉強になった。

最後に、この度の国際学会参加にあたり、海外交流助成金を援助していただきました大阪大学工業会に深く感謝の意を表します。



シンポジウムの様子



淡水老街のお寺